

日南市公共施設等総合管理計画

(個別施設計画)

レクリエーション観光施設編

令和2年3月

**観光・スポーツ課
水産林政課
生涯学習課**

1. 対象施設

平成29年度末現在、レクリエーション観光施設は9施設で、延床面積の合計は5,134m²となっております。

No.	施設名	所在地	総床面積 (m ²)	棟数
1	大堂津海水浴場	日南市大堂津四丁目4850-239	837	3
2	富士マリンレジャーランド観光施設	日南市大字富士1734	649	4
3	大島観光施設	日南市南郷町中村乙7619-1	565	5
4	鯛取ふれあい観光施設	日南市南郷町榎原乙2182-3	98	3
5	栄松ビーチキャンプ場	日南市南郷町中村乙4178-1	209	3
6	乱杭野集会所	日南市大字板敷	33	1
7	蜂之巣公園	日南市北郷町郷之原甲3853-1	1,458	9
8	総合林業センター(酒谷キャンプ場)	日南市大字酒谷甲3360-2	264	6
9	酒谷コミュニティセンター	日南市大字酒谷甲3360-1	1,021	2
合計			5,134	36

2. 計画期間

令和2年（2020年）度から令和8年（2026年）度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、見直すものとします。

3. 対策の優先順位の考え方

（1）施設の役割

大堂津海水浴場、富士マリンレジャーランド観光施設、大島観光施設、鯛取ふれあい観光施設、栄松ビーチキャンプ場は、市民の福祉の増進を図るため、市民の健全なレクリエーションの場として設置しました。

乱杭野集会所は、乱杭野周辺整備事業により、平成6年にバンガローを建設しました。

蜂之巣公園は、住民へ保養及び健康増進のためのレクリエーションの場を提供するため設置しました。

総合林業センター（酒谷キャンプ場）は、平成3年の開設当初、林業所得の増大及び就労の場の拡大を図り、林業者の定住化を促進することを目的に設置しましたが、近年は、主に、本市を来訪する観光客等に向けた滞在施設として活用されています。

酒谷コミュニティセンターは、青少年をはじめ一般住民に対し、自然環境の中で森林資源に対する理解及び保護、自然環境の浄化並びに情操の純化を図り、心身ともに健全な市民の育成を図るために設置しました。

（2）現状と課題

大堂津海水浴場、富士マリンレジャーランド観光施設、栄松ビーチキャンプ場、蜂之巣公園については、指定管理者制度のもと適切な管理を行ってきており、当分の間は現状のまま施設を活用することが可能と見込まれます。

大堂津海水浴場、富士マリンレジャーランド観光施設、大島観光施設、鯛取ふれあい観光施設、栄松ビーチキャンプ場の施設利用状況については、夏季の利用がほとんどであり、それ以外のシーズンの利用者を増やす方策や施設の活用方法の検討が必要あります。

乱杭野集会所については、隣接する霧島神社の催事のほか、日南山の会や管理を依頼している日南アマチュア無線クラブの利用があるものの、利用は少ない状況にあります。

蜂之巣公園については、全棟天然温泉露天風呂付きのコテージであり、またオートキャンプ場もあるため、通年での利用があります。

総合林業センター（酒谷キャンプ場）においては、平成3年に建築され築後30年が経過しようとしている中、これまで適切な維持管理を行ってきており、今後、当分の間は現状のまま施設を活用することが可能であると見込まれます。

施設の利用状況については、主に本市を来訪する観光客等の滞在施設として、春の行楽シーズンと夏季には利用が多く、特に8月は、週末を中心に満室状態の日が多くなっています。

一方、梅雨時期や冬季においては、稼動状況は著しく低くなっています。

酒谷コミュニティセンターは、酒谷キャンプ場に隣接しており、酒谷キャンプ場と一体となって指定管理者が管理・運営しています。キャンプ場としての利用が多く、特に夏場の利用が多くなっています。また、体育館も有しているためスポーツ団体の合宿でも利用されています。

コミュニティセンターは研修所と体育館で構成されていますが、研修所は30年、体育館は40年近く建設から経過しているため、老朽化が進んでいます。

(3)今後の施設の考え方

大堂津海水浴場、富士マリンレジャーランド観光施設、栄松ビーチキャンプ場、蜂之巣公園については、引き続き指定管理者との連携を図りながら適切な維持管理のもと施設の安全性の確保及び延命に努めています。

大島観光施設については、現在指定管理者制度を導入している栄松ビーチキャンプ場との連携を図り、一体的な活用の検討を行い、指定管理者制度の導入など効率的な維持管理運営に努めています。

鯛取ふれあい観光施設については、施設利用の実態を鑑み、季節によってクローズするなど施設のあり方の見直しや、地域の意向を踏まえて、地元管理や譲渡に向けた検討を進め、効率的な管理運営を図っていきます。

乱杭野集会所については、施設のあり方の見直しや、地域の意向を踏まえ、地元管理や譲渡に向けた検討を進め、効率的な管理運営を図っていきます。

総合林業センター（酒谷キャンプ場）においては、引き続き適切な維持管理に努めています。また、施設利用者の実態等を鑑み、市内に所在する同様の目的を有する施設と一体的な活用の検討を行い、利活用の促進を図っていきます。

酒谷コミュニティーセンターについては、キャンプ場との併合した利用が多くなっています。建物の老朽化が進んでいるため、適切な維持管理を行い、安全性の確保に努めます。また、現在の利用状況・利用目的に応じ、市内の他の施設の状況等を踏まえて、施設のあり方の検討を行います。

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	大堂津海水浴場	S61年度	31	RC	50	19	新	新		
2	富士マリンレジャーランド観光施設	H2年度	27	RC	50	23	新	新		
3	大島観光施設	H11年度	18	W	22	4	新	新	H21	他
4	鯛取ふれあい観光施設	H11年度	18	W	22	4	新	新		
5	栄松ビーチキャンプ場	H14年度	15	W	15	0	新	新		
6	乱杭野集会所	H6年度	23	RC	47	24	新	新		
7	蜂之巣公園	S60年度	32	RC	50	18	新	新		
8	総合林業センター(酒谷キャンプ場)	H2年度	27	W	24	-3	新	新		
9	酒谷コミュニティセンター	H2年度	27	W	15	-12	新	新		

(注1)平成29年度末現在の状況について記載

(注2)複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造:W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数:耐用年数-経過年数[基準年度-建築年度]

※耐震診断:新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修:新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

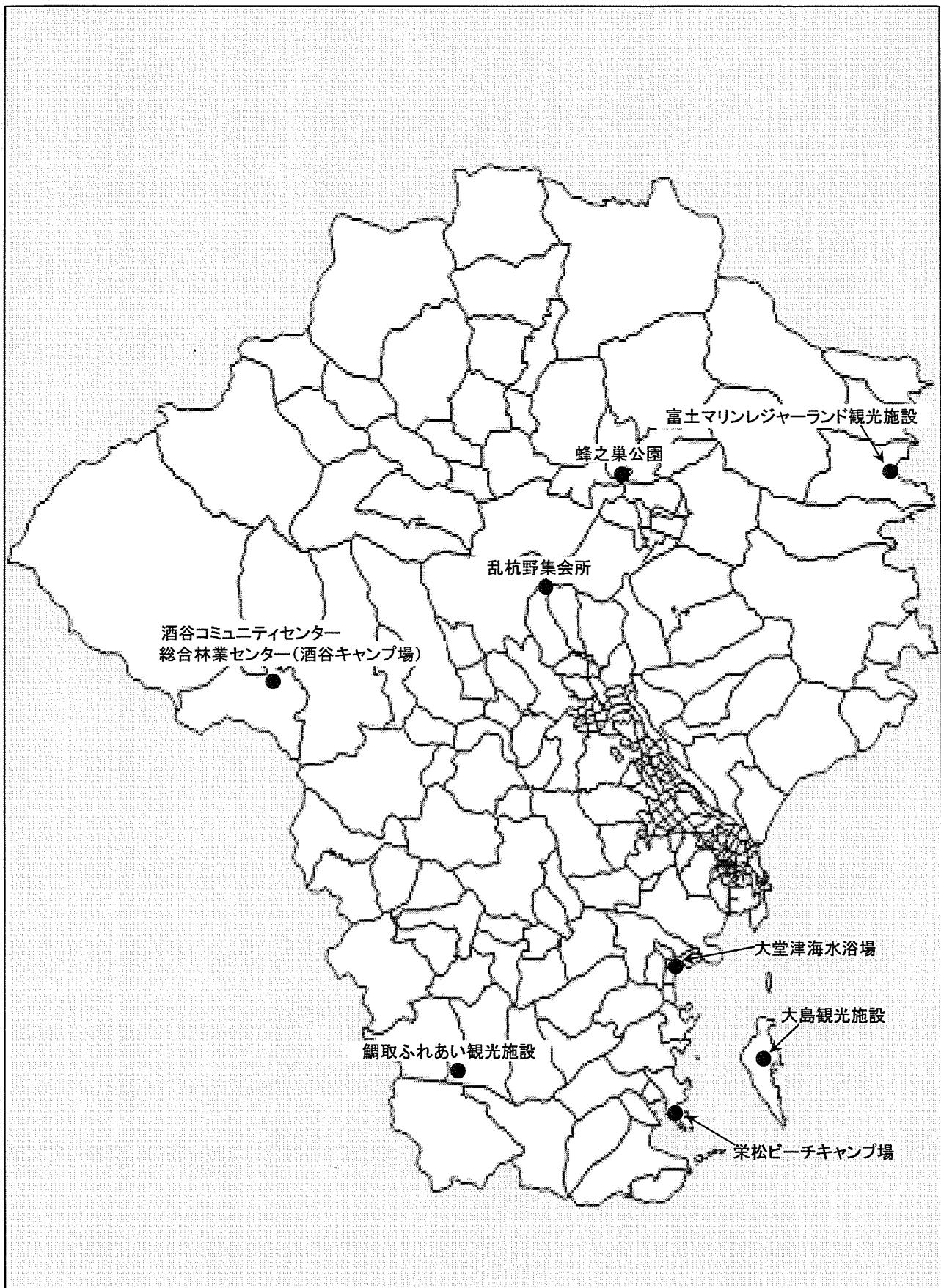
※大規模改修:屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (m ²)	稼動日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	1㎡当たりコスト (円)	1日当たり利用 者数(人)
1	大堂津海水浴場	837	365	11,898	4,600,000	5,496	33
2	富士マリンレジャーランド観光施設	649	365	14,807	6,268,000	9,658	41
3	大島観光施設	565	365	684	4,277,826	7,571	2
4	鯛取ふれあい観光施設	98	319	1,879	2,013,375	20,545	6
5	栄松ビーチキャンプ場	209	319	10,609	6,500,000	31,100	33
6	乱杭野集会所	33	365	-	44,000	1,333	-
7	蜂之巣公園	1458	365	38,750	1,301,814	893	106
8	総合林業センター(酒谷キャンプ場)	264	311	2,015	2,154,165	8,160	7
9	酒谷コミュニティセンター	1021	317	2,519	915,456	897	8

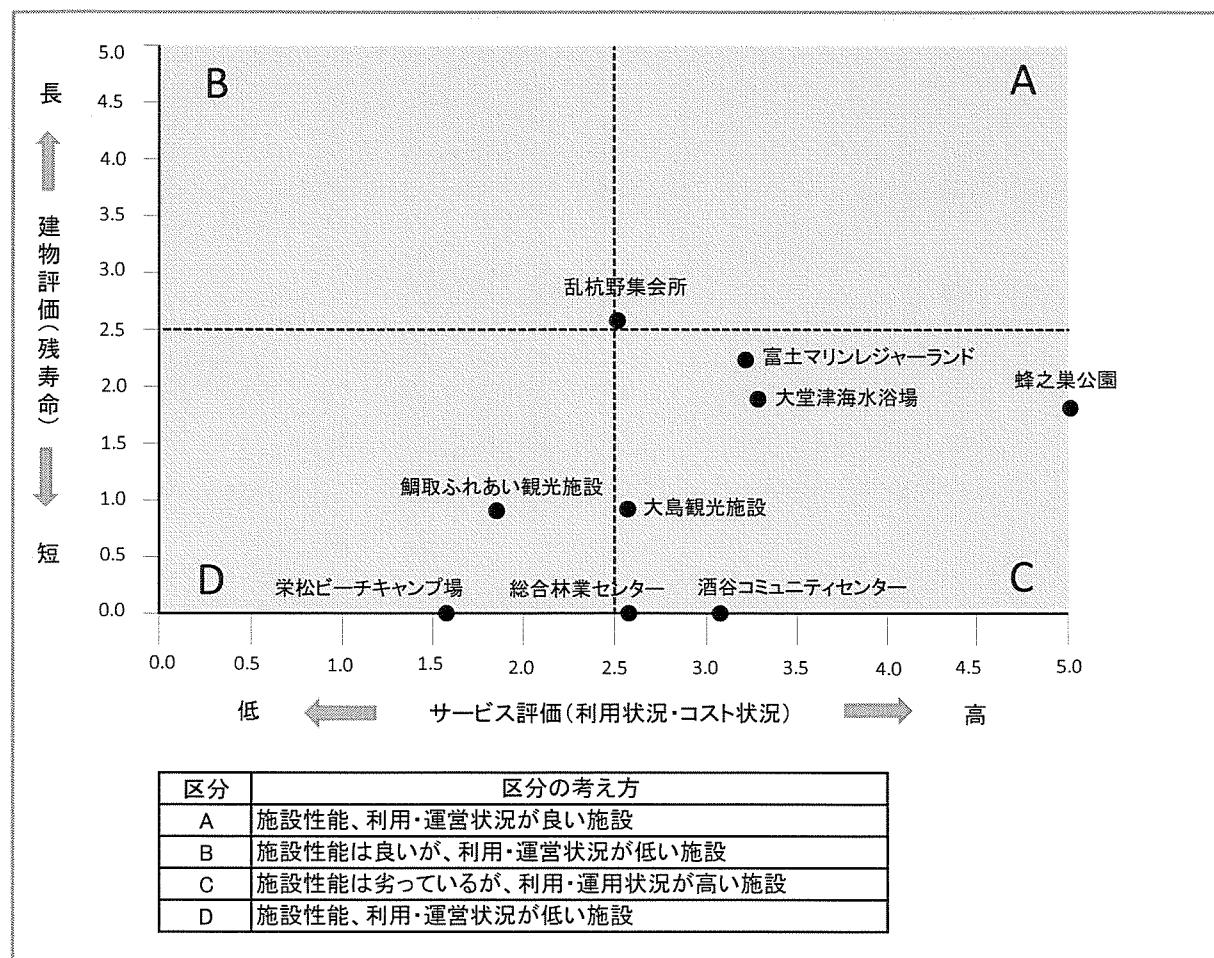
(注)稼動日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

5. 施設配置状況



6. ポジショニング分析(施設評価)結果

各施設の施設性能(ハード面)と利用・運営状況(ソフト面)の重要な2つの指標について、数値化し、施設の特徴や傾向を4つの区分(A、B、C、D)に分けて表したものです。



【施設評価の考え方】

縦軸: 建物評価の点数

○残寿命年数

施設の残寿命年数を計算し、建物の評価点を出す(5段階評価で5点満点)。マイナス評価の場合は、0点とする。

〈計算式〉

耐用年数 - (基準年度(2017年度) - 建築年度) = 残寿命年数

(残寿命年数 / 耐用年数) × 5点 = 残寿命年数の点数

例) 平成4年度(1992年度)建築された、鉄筋コンクリートの庁舎の場合

50(耐用年数) - (2017 - 1992) = 25 25(残寿命年数) / 50(耐用年数) × 5点 = 2.5点(残寿命年数の点数)

横軸: サービス評価の点数

○ m^2 当たりのコスト

m^2 当たりコストが最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。

不明の場合は0点とする。

○1日当たりの利用者数

1日当たり利用者数が最も多い施設を5点、最も少ない施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。不明の場合は、0点とする。

サービス評価の点数 = (m^2 当たりコストの点数 + 1日当たりの利用者数の点数) × 1/2

※過去3年間(H27~29年度)の平均により算定。

7. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	大堂津海水浴場	指定管理者との連携を図り、効率的な維持管理運営のもと、施設の安全性の確保及び延命に努める。
2	富士マリンレジャーランド観光施設	指定管理者との連携を図り、効率的な維持管理運営のもと、施設の安全性の確保及び延命に努める。
3	大島観光施設	適切な維持管理のもと、施設の安全性の確保及び延命に努める。 現在、指定管理者制度を導入している栄松ビーチキャンプ場との連携を図り、一体的な活用の検討を行い、指定管理者制度の導入など効率的な維持管理運営に努める。
4	鯛取ふれあい観光施設	適切な維持管理のもと、施設の安全性の確保及び延命に努める。 また、施設利用者数の実態を鑑み、季節によってクローズするなど施設のあり方の見直しや、地域の意向を踏まえ、地域管理や地元への譲渡に向けた検討を進め、効率的な管理運営を図る。
5	栄松ビーチキャンプ場	指定管理者との連携を図り、効率的な維持管理運営のもと、施設の安全性の確保及び延命に努める。
6	乱杭野集会所	適切な維持管理のもと、施設の安全性の確保及び延命に努める。 また、施設利用の実態を鑑み、施設のあり方の見直しや、地域の意向を踏まえ、地域管理や地元への譲渡に向けた検討を進め、効率的な管理運営を図る。
7	蜂之巣公園	指定管理者との連携を図り、効率的な維持管理運営のもと、施設の安全性の確保及び延命に努める。
8	林業総合センター(酒谷キャンプ場)	適切な維持管理のもと、施設の延命に努める。 利活用促進を目的とし、施設利用者の実態等を鑑み、施設のあり方(更新もしくは廃止)も含めて、市内に所在する同様の目的を有する施設と一体的な活用の検討を行う。
9	酒谷コミュニティセンター	適切な維持管理のもと、施設の安全性の確保及び延命に努める。また、現在の利用状況・利用目的に応じ、市内の他の施設の状況等を踏まえて、施設のあり方の検討を行う。

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間							
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
1	大堂津海水浴場	屋外ステージ	対策内容								
			対策費用								
		管理棟	対策内容								
			対策費用								
		休憩室倉庫	対策内容								
			対策費用								
2	富士マリンレジャーランド観光施設	トイレ	対策内容								
			対策費用								
		管理棟	対策内容								
			対策費用								
		休憩室倉庫	対策内容								
			対策費用								
		休憩棟	対策内容								
			対策費用								

3	大島観光施設	ファミリーコーテージ	対策内容							
			対策費用							
		ボイラー室	対策内容							
			対策費用							
		観光地トイレ	対策内容							
			対策費用							
4	鯛取ふれあい観光施設	宿泊施設	対策内容							
			対策費用							
		倉庫	対策内容							
			対策費用							
		休憩所	対策内容							
			対策費用							
5	栄松ビーチキャンプ場	農産物販売所	対策内容							
			対策費用							
		便所	対策内容							
			対策費用							
		交流休憩施設	対策内容							
			対策費用							
6	乱杭野集会所	公衆トイレ	対策内容							
			対策費用							
		艇庫	対策内容							
			対策費用							
		バンガロー	対策内容							
			対策費用							
7	蜂之巣公園	コテージA・B	対策内容							
			対策費用							
		コテージC～G	対策内容							
			対策費用							
		コテージH・I・J	対策内容							
			対策費用							
		コテージK・32人棟	対策内容							
			対策費用							
		トイレ(炊事棟横)	対策内容							
			対策費用							
		管理事務所	対策内容							
			対策費用							
		森林広場トイレ棟	対策内容							
			対策費用							
		森林広場炊事棟	対策内容							
			対策費用							
		倉庫	対策内容							
			対策費用							
		遊具	対策内容							
			対策費用							

8	林業総合センター(酒谷キャンプ場)	総合案内及び食堂	対策内容							
		パンガロー(つわぶき)	対策内容							
		パンガロー(かわせみ)	対策費用							
			対策内容							
		パンガロー(おびすぎ)	対策費用							
			対策内容							
		パンガロー(おすず)	対策費用							
9	酒谷コミュニティセンター	研修所	トイレ	対策内容						
			対策費用							
	酒谷コミュニティセンター	体育館	対策内容							
			対策費用							